

本編

I. レビューの実施方針

1. 背景

近年、被援助国における援助協調の議論では、財政支援が重要なテーマの1つとなっている。英国は平成15年度より、DAC評価ネットワークの作業の一環として、一般財政支援の評価調査を蘭他ネットワークメンバー国と合同で実施中である。また、米国も、平成16年4月以降、一般財政支援の評価（セクター別支援との比較）を実施している。他方、我が国でも従来構造調整融資、債務救済無償など財政支援的な性格を持つ援助を実施してきたが、一般財政支援の枠組みとしては、ベトナムにおいて平成16年度に貧困削減支援借款（PRSC）を、タンザニアにおいて平成13年度より試行的に貧困削減財政支援基金（PRBS）への支援を実施している。今後のより効果的かつ効率的な支援を行っていくため、これまでの財政支援の取り組みや実績をレビューすることが求められている。

2. 目的

GBSに関する我が国の方針策定のための参考とするため、我が国が過去に行った貧困削減支援借款（PRSC）及び貧困削減財政支援基金（PRBS）への支援をレビューし、その実績や課題を明確にする。また、レビューの結果を国民に対して公表し、説明責任を果たすとともに今後実施する財政支援の運営のための教訓を引き出す。

3. 対象

ベトナムにおける貧困削減支援借款（PRSC）及びタンザニアにおける貧困削減財政支援基金（PRBS）への支援を対象とし、その目的、過程、成果について総合的に検証する。

4. レビューの方法

GBSの概要部分は文献調査、タンザニアPRBSについては現地調査・文献調査・国内ヒアリング、ベトナムPRSCについては文献調査・国内ヒアリングによりレビューを実施した。

同じGBSでも国ごとに状況が大きく異なるため、援助スキームのみではなく、GBSに伴って実施される行財政支援を含む全容の把握を試みた。

5. レビューの実施者

評価主任 : 田中弥生 (東京大学工学系研究科・工学部 助教授)
アドバイザー : 坂元浩一 (東洋大学大学院 国際地域学研究科・国際地域学専攻 教授)
: 高橋基樹 (神戸大学大学院 国際協力研究科 教授)
: 島村真澄 (政策研究大学院大学 開発フォーラムチーム 助教授)

評価補助業務者

: 神尾文彦 (株式会社 野村総合研究所)
: 岩垂好彦 (株式会社 野村総合研究所)
: 佐竹繁春 (株式会社 野村総合研究所)